

令和 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
Ⅲ類	I類 A事業所のみを有する特定事業者
	II類 B事業所を有する特定事業者(Ⅲ類の事業者を除く)
	Ⅲ類 C事業所を有する特定事業者
	IV類 任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社島忠		
所在地	埼玉県さいたま市中央区上落合8-3-32		
事業者番号	2063		
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	9,548	kL/年	
大規模小売店舗面積 (単独で1,500kL未満で延床 面積10,000㎡以上の事業所)	17,868	㎡	
産業分類名 (中分類)	56 各種商品小売業		
分類番号 (中分類)	56		
事業活動の 概要	事業内容	事業内容：家具・インテリア用品の販売 日用品・DIY用品の販売	
	区分	企業	
	前年度 資本金	16,534	百万円
	前年度 従業員数	4,091	人
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)			

(3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所 種別	事業所 番号	事業所名	前年度の原油換算 エネルギー使用量
A、Bテナント等事業所			
A	206300	株式会社島忠 ホームズさいたま中央店	7,799
	000000	0	0
	000000	0	0
	000000	0	0
	000000	0	0
B、C事業所			
C	206301	株式会社島忠 ホームズ草加舎人店	1,749
	000000	0	0
	000000	0	0
	000000	0	0
	000000	0	0
合 計			9,548

(4) 公表方法

○	インターネット利用による公表	アドレス	https://www.shimachu.co.jp/corporate/environment4.html
	事業所での備え置き (複数可。書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	
		所在地 1	
		閲覧可能 時間 1	
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
		閲覧可能 時間 2	
	その他		

(5) 公表の担当部署

	名称 (複数可)	連絡先	
		電話番号	E-mailアドレス※
1	株式会社島忠 本部 総務部	048-851-7700	soumu07@shimachu.co.jp
2			
3			

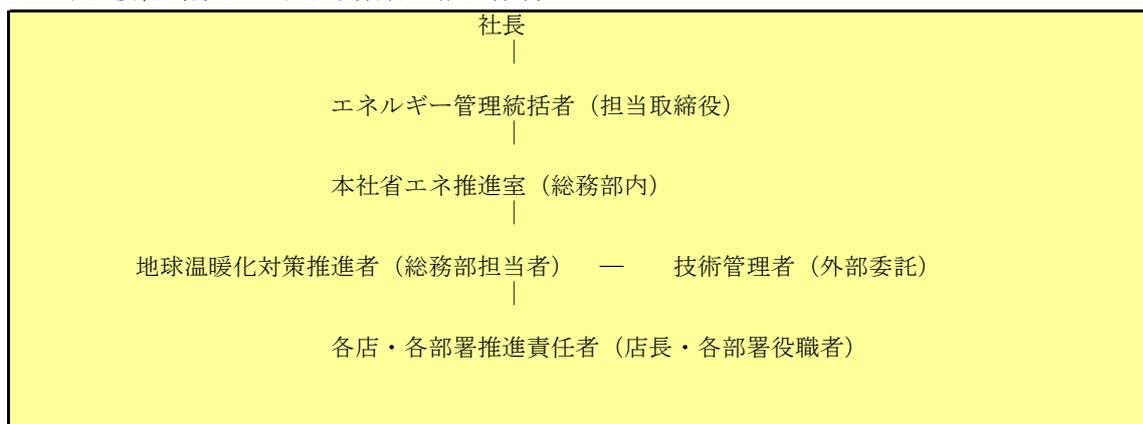
※ 事業者のアドレスとする(個人が特定できるアドレスは記入しないこと)

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

当社は次の点を重視して、温室効果ガスの削減対策に取り組む方針である。

1. 全社的及び各店の組織を整え、設備及び運用の見直しを図る。
2. 電力削減対策として全社的に以下の事項を実施する。
 - ・LEDスポットライト、インバータ安定器の導入の検討・実施
 - ・LED照明の高効率化更新の検討・実施
 - ・空調の設定温度 28℃（夏期）・19℃（冬期）
 - ・空調の運転停止（使用していない時間、エリア等）
 - ・屋外照明等のタイマー設定時間の見直し
 - ・事務所エリアにて遮光フィルムの導入による室温上昇防止 等
3. 電力使用量の見える化を実施する。（一部デマンド制御導入）
4. 店舗巡回メンテナンスチェックシートを作成・管理する

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

	CO ₂ 換算（t-CO ₂ ）				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂	19,100	19,551	18,762		
その他ガス	0	0	0		
温室効果ガスの計	19,100	19,551	18,762	0	0

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

令和 5 年度

事業者番号	2063	事業所番号	206300
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	株式会社島忠 ホームズさいたま中央店	前年度における事業所数	21
代表事業所所在地	市区町村	さいたま市中央区	
	字・地番	上落合8-3-32	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	56 各種商品小売業		
分類番号(中分類)	56		
事業活動の概要	事業内容 : 家具インテリア用品の販売 日用品・DIY用品の販売 従業員数 : 1,439名(パート・アルバイト含む)		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量		t-CO ₂	基準となる原単位	0.0498 t-CO ₂ /㎡
		令和元年度エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位(0.0460)から、8%増の0.0498以下に抑制することを目標とする。				
	その他ガス					

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量		t-CO ₂	基準となる原単位	
	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	株式会社島忠 ホームズさいたま中央店	さいたま市中央区上落合8-3-32
2	草加店	草加市花栗2-7-21
3	大宮本店	さいたま市西区三橋5-1555
4	八潮店	八潮市大曾根1151-1
5	春日部本店	春日部市西八木崎2-8-1
6	越谷店	越谷市花田1-24-3
7	和光店	和光市南1-4-15
8	新座店	新座市東北2-5-26
9	川口朝日店	川口市朝日4-3-14
10	浦和中尾店	さいたま市緑区中尾835
11	ホームズ川越店	川越市小仙波691-1
12	ホームズ川口店	川口市芝7229
13	ニトリホームズ宮原店	さいたま市北区植竹町1-820-5
14	ホームズ三郷中央店	三郷市中央3-33-8
15	ホームズ浦和南店	さいたま市南区内谷7-12-5
16	ホームズ与野店	さいたま市中央区新中里3-20-30
17	ホームズ川越的場店	川越市的場新町21-4
18	ホームズ春日部店	春日部市下柳343
19	ホームズ所沢店	所沢市青葉台1327
20	川越的場研修センター	川越市的場新町21-4
21	ホームズタウン川越店	川越市小仙波689-1

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	8,008	8,166	7,799		

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	基準	計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂		15,741	16,053	15,331		
前年度比 (%)		—	2.0	-4.5		
基準となる排出量に対する削減率 (%)						
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
三ふっ化窒素						
温室効果ガスの合計		15,741	16,053	15,331		

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

	基準	計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	0.0498	0.0473	0.0482	0.0465		
前年度比 (%)		—	2.0	-3.7		
基準となる原単位に対する削減率 (%)		5.0	3.1	6.7		
活動規模の指標	単 位	332,731.00	332,731.00	329,808.00		
床面積	m ²					

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	<p><CO2排出量原単位の増減率> CO2排出量原単位は基準となり原単位に比べ5.0%の改善となった。</p> <p><排出量の増減要因></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策による換気量確保のための空調エネルギーの増加、扇風機の活用による電気使用量の増加 ・コロナ禍における営業時間の短縮のため、電気・ガス使用量が減少 ・空調機（GHP, EHP）の高効率化更新によるガス、電気使用量の減少（八潮店、浦和中尾店） ・照明のLED化更新による電気使用量の減少（草加店、春日部本店、新座店、三郷中央店）
令和3年度 (2021年度)	<p><CO2排出量原単位の増減率> CO2排出量原単位は基準となる原単位に比べ3.1%の改善となった。</p> <p><排出量の増減要因></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策による換気量確保のための空調エネルギーの増加、扇風機の活用による電気使用量の増加 ・空調機（EHP）の高効率化更新による電気使用量の減少（川口朝日店）
令和4年度 (2022年度)	<p><CO2排出量原単位の増減率> CO2排出量原単位は基準となる原単位に比べ6.7%の改善となった。</p> <p><排出量の増減要因></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策による換気量確保のための空調エネルギーの増加、扇風機の活用による電気使用量の増加 ・空調機（EHP）の高効率化更新による電気使用量の減少（川口朝日店） ・店舗数の減少が排出量の減少に影響している
令和5年度 (2023年度)	
令和6年度 (2024年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	地球温暖化対策推進体制を整備する。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
2	110300	一般管理事項	11_計測及び記録の管理	毎月のエネルギー使用量を把握し、電子データとして保存する。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
3	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	冷暖房の温度設定は政府等の推奨値を参考とし、適切な設定となるように管理する。併せて使用していない時間及びエリアの空調運転を停止する。さらに空調フィルターの定期的な清掃の徹底。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
4	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	空調の高効率化を推進する。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
5	140200	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_給排水設備の管理	トイレ内への擬音装置の設置。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
6	150100	受変電設備、照明設備、電気設備	15_受変電設備の管理	デマンドコントロール装置の導入により、電力の見える化を図る。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
7	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	ハロゲンスポットライトからLEDスポットライトへの変更、蛍光灯がインバータ安定器でない店舗はインバータ安定器への変更を検討する。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
8	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	屋外照明等のタイマー設定時間を見直し、季節にあった適正な点灯時間となるように管理する。【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	

9	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	高効率照明の導入により、照明に必要な電気エネルギーの削減を図る。不要な時間帯及び不要な場所の消灯の実施。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
10	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15_事務用機器等の管理	省エネ型自動販売機の導入及びパソコン、複合機等の省エネモードの活用。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
11	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネルギー	窓に断熱フィルムを導入し、外部からの太陽熱の遮断による冷房負荷低減を図る。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
12	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	クールビズ(ウォームビズ)の実施 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
13	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	CO2排出量が多い対策店舗から検討の上、店内照明のLED化を計画的に行う。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
14	160100	昇降機、建物	16_昇降機の運転管理	エレベーター・エスカレーターの稼働時間は営業時間内とし、平日と休日時の稼働台数を調整する。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
15	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	効率の低い旧空調設備を採用している店舗から検討の上、設備更新を順次行う。 【R3年度:川口朝日店】	R1以前	R1以前	

日本産業規格A列4番

事業所番号 206300

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 (A、Bテナント等事業所用)

A事業所(5)

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

日本産業規格A列4番

令和 5 年度

事業者番号	2063	事業所番号	206301
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	株式会社島忠 ホームズ草加舎人店		
事業所所在地	市区町村	草加市	
	字・地番	遊馬町2番地1	
産業分類名(中分類)	56 各種商品小売業		
分類番号(中分類)	56		
事業活動の概要	事業内容	事業内容 : 家具・インテリア用品の販売 日用品・DIY用品の販売 従業員数 : 99名(パート・アルバイト含む)	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	~	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を令和2年度は8%、令和3~6年度は15%以上とする。(必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス					
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	33,173	t-CO ₂	事業所区分 第1区分-(1)		
	削減目標量(計画期間合計)	5,222	t-CO ₂			

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	~	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	1,713	1,783	1,749		

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	3,359	3,498	3,431		
前年度比 (%)	—	4.1	-1.9		
そ の 他 ガ ス	非エネルギー起源 CO ₂				
	メ タ ン				
	一 酸 化 二 窒 素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六 ぶ っ 化 い お う				
三 ぶ っ 化 窒 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	3,359	3,498	3,431		

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況 (エネルギー起源CO₂)

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	0.0496	0.0516	0.0507		
前年度比 (%)	—	4.1	-1.9		
活 動 規 模 の 指 標	単 位				
床面積	67,734.00	67,734.00	67,734.00		
	m ²				

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	<p><CO2排出量の増減率> 2020年度のCO2排出量は基準年度に比べ約56.3%減少した。</p> <p><排出量の増減要因></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度と比べ冷夏であり、空調にかかる電気使用量が減少。 ・コロナ禍における営業時間の短縮のため電気・ガス使用量が減少。 ・空調の温度設定およびバックヤードの空調の時短、夏場の店内入り口の風除室の斜め運用、毎月のテナント会議による啓発活動等の継続により排出量を抑制。 ・感染症対策による換気量確保のための空調エネルギーの増加、扇風機の活用による電気使用量の増加 					
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	<p><CO2排出量の増減率> 2021年度のCO2排出量は基準年度に比べ約54.4%減少した。</p> <p><排出量の増減要因></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度と比べ1~3月の平均気温が低く、空調にかかる電気使用量が増加。 ・空調の温度設定およびバックヤードの空調の時短、夏場の店内入り口の風除室の斜め運用、毎月のテナント会議による啓発活動等の継続により排出量を抑制。 ・感染症対策による換気量確保のための空調エネルギーの増加、扇風機の活用による電気使用量の増加 					
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	<p><CO2排出量の増減率> 2022年度のCO2排出量は基準年度に比べ約1.9%減少した。</p> <p><排出量の増減要因></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度と比べ1~3月の平均気温が低く、空調にかかる電気使用量が増加。 ・空調の温度設定およびバックヤードの空調の時短、夏場の店内入り口の風除室の斜め運用、毎月のテナント会議による啓発活動等の継続により排出量を抑制。 ・感染症対策による換気量確保のための空調エネルギーの増加、扇風機の活用による電気使用量の増加 ・空調温度設定基準作成による省エネ施策を実施したことで削減できた。 					
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	7,679	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO ₂ /年)
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第1区分- (1)
----------	-----------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位: t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計	
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	7,679	7,679	7,679	7,679	7,679	38,395	
	目標削減率の 緩和措置							
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)	8.00%	15.00%	15.00%	15.00%	15.00%		
	排出上限量 (C = Σ A-D)							33,173
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))							5,222
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	3,359	3,498	3,431			10,288	
	削減率 (F = (A - E) / A)	56.26%	54.45%	55.32%			—	
	排出削減量 (G = A - E)	4,320	4,181	4,248			12,749	
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済				

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	分 号	区 分 名 称				
			大 区 分				
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	地球温暖化対策推進体制を整備する。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
2	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	クールビズ（ウォームビズ）の実施 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
3	110300	一般管理事項	11_計測及び記録の 管理	毎月のエネルギー使用量を把握し、電 子データとして保存する。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
4	110300	一般管理事項	11_計測及び記録の 管理	装置の導入により、電力の見える化を 図る。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
5	130200	空気調和設備・ 換気設備	13_空気調和設備の 効率管理	空調自動制御機種を導入し、冷暖房の 温度設定は政府等の推奨値を参考と し、適切な設定となるように管理す る。併せて使用していない時間及びエ リアの空調運転を停止する。さらに空 調フィルターの定期的な清掃の徹底。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
6	150200	受変電設備、照 明設備、電気設 備	15_照明設備の運用 管理	屋外照明等のタイマー設定時間を見直 し、季節にあった適正な点灯時間と なるように管理する。【第3計画期間実 施中】	R1以前	R1以前	
7	150200	受変電設備、照 明設備、電気設 備	15_照明設備の運用 管理	高効率照明の導入により、照明に必要 な電気エネルギーの削減を図る。 不要な時間帯及び不要な場所の消灯の 実施。【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	

8	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15_事務用機器等の管理	省エネ型自動販売機の導入及びパソコン、複合機等の省エネモードの活用。 【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
9	160100	昇降機、建物	16_昇降機の運転管理	エレベーター・エスカレーターの稼働時間は営業時間内とし、平日と休日時の稼働台数を調整する。【第3計画期間実施中】	R1以前	R1以前	
10	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	テナント会議（毎月）にて省エネの協力及び空調等の運用状況の報告及び確認をし、地球温暖化対策推進を図る	R1以前	R1以前	
11	140200	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_給排水設備の管理	節水対策（節水コマ・擬音装置等）の実施	R1以前	R1以前	
12	180200	その他	18_その他	電気事業者より低炭素電力を調達する。【R5年度】	R5		

日本産業規格 A 列 4 番

事業所番号 206301

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 (B, C事業所用)

C事業所(6)

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

日本産業規格 A 列 4 番